



決算説明資料

2026年9月期 第3四半期

2026.8.7

株式会社学研ホールディングス

証券コード 9470



人の可能性を どこまでも追求する会社へ

Growth	人と社会の持続的な成長に貢献しよう
Action	新しいきっかけを生み出す行動を起こそう
Knowledge	誰よりも学び、率先して知識を還元しよう
Kindness	お客様や、共に働く仲間に優しさと思いやりを示そう
Enjoy	誰かを楽しませるためには、まず自分が楽しもう
New Stage	ボーダレスに思考し、活躍の場を世界に広げよう

INDEX

01

2026年9月期
第3四半期
決算概要

P.04

02

教育分野
業績

P.10

03

医療福祉分野
業績

P.15

04

決算補足資料

P.17

01 2026年9月期第3四半期 決算概要



2026年9月期 第3四半期 連結業績 エグゼクティブサマリー

医療福祉・グローバル事業が増収を牽引、EBITDAも増加

(単位未満は切捨て)

売上高

1,559億円

前年同期比 +6.3%

EBITDA※1

94.6億円

前年同期比 +12.8%

営業利益

58.6億円

前年同期比 +14.3%

経常利益

55.8億円

前年同期比 +18.0%

四半期純利益※2

26.5億円

前年同期比 -3.2%

連結売上高

教育分野の保育事業拡大とDTP Education Solutions JSC(以下DTP社)の連結寄与期間の拡大、医療福祉分野の施設数増加・高水準の入居率維持・介護周辺事業の堅調な推移により、前年同期比6.3%増

EBITDA※1

EBITDAは、教室・塾事業の増益が牽引し、DTP社の連結寄与期間の拡大に加え、認知症グループホーム事業の伸長と保育・幼児事業の拡大も寄与し、前年同期比12.8%増

営業利益

営業利益は、教室・塾事業および高齢者住宅事業の増益が牽引し、出版・コンテンツサービス事業およびグローバル事業の減益を相殺して、前年同期比14.3%増

経常利益

営業利益の増益影響と営業外損益の改善により、経常利益は前年同期比18.0%増

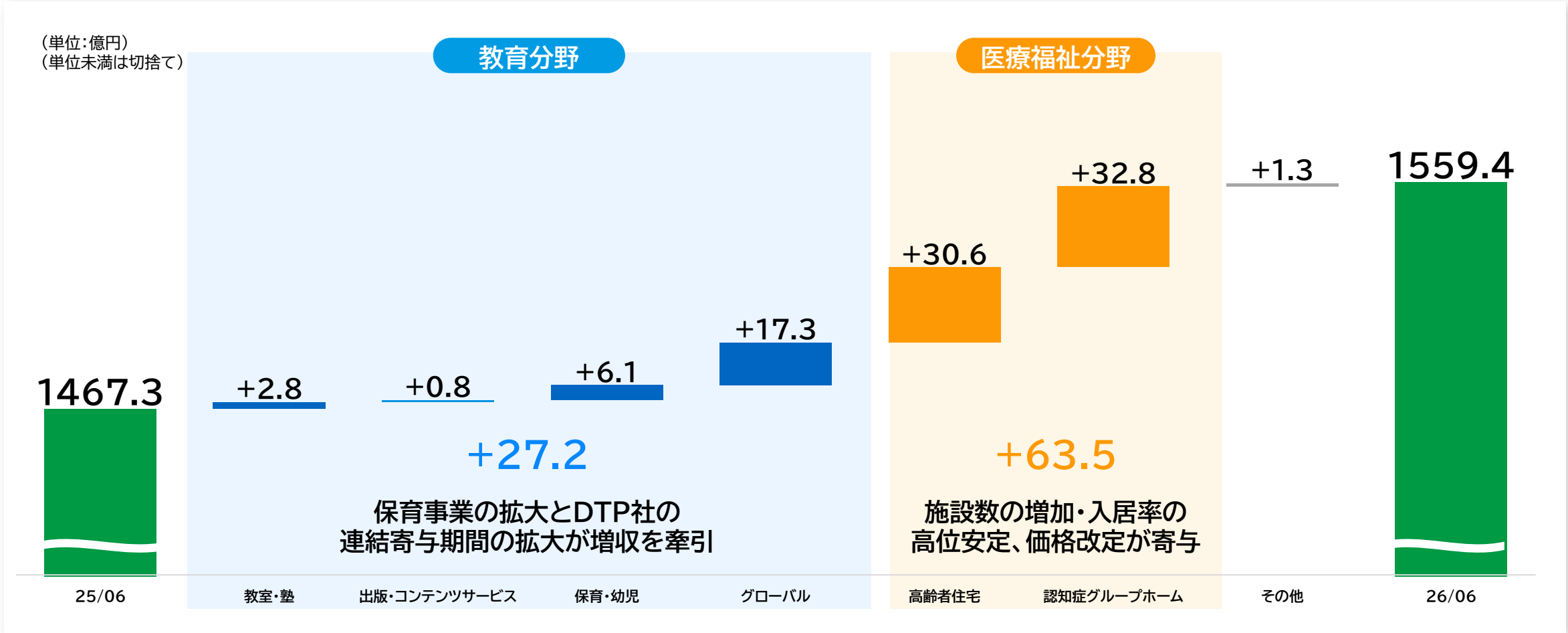
四半期純利益※2

前年第1四半期に計上した特別利益の反動減と減損損失の増加により前年同期比3.2%減

※1 営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算。 ※2 親会社株主に帰属する四半期純利益。

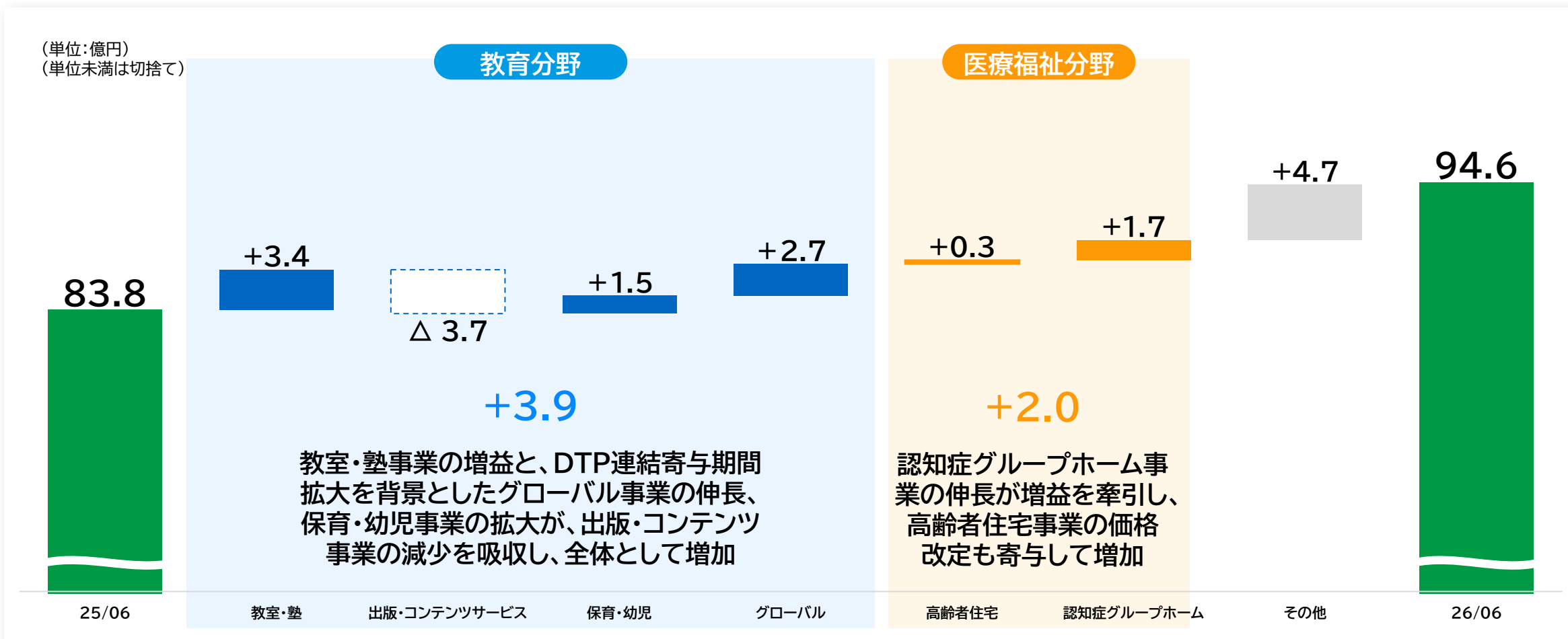
売上高 増減分析

教育分野の保育事業拡大とDTP社の連結寄与期間の拡大、医療福祉分野の施設数増加・高水準の入居率維持・介護周辺事業の堅調な推移により増収



EBITDA 増減分析

教室・塾事業での増益に加え、DTP社の連結寄与期間の拡大や認知症グループホーム事業の伸長と保育・幼児事業の拡大なども寄与し、EBITDAは増加



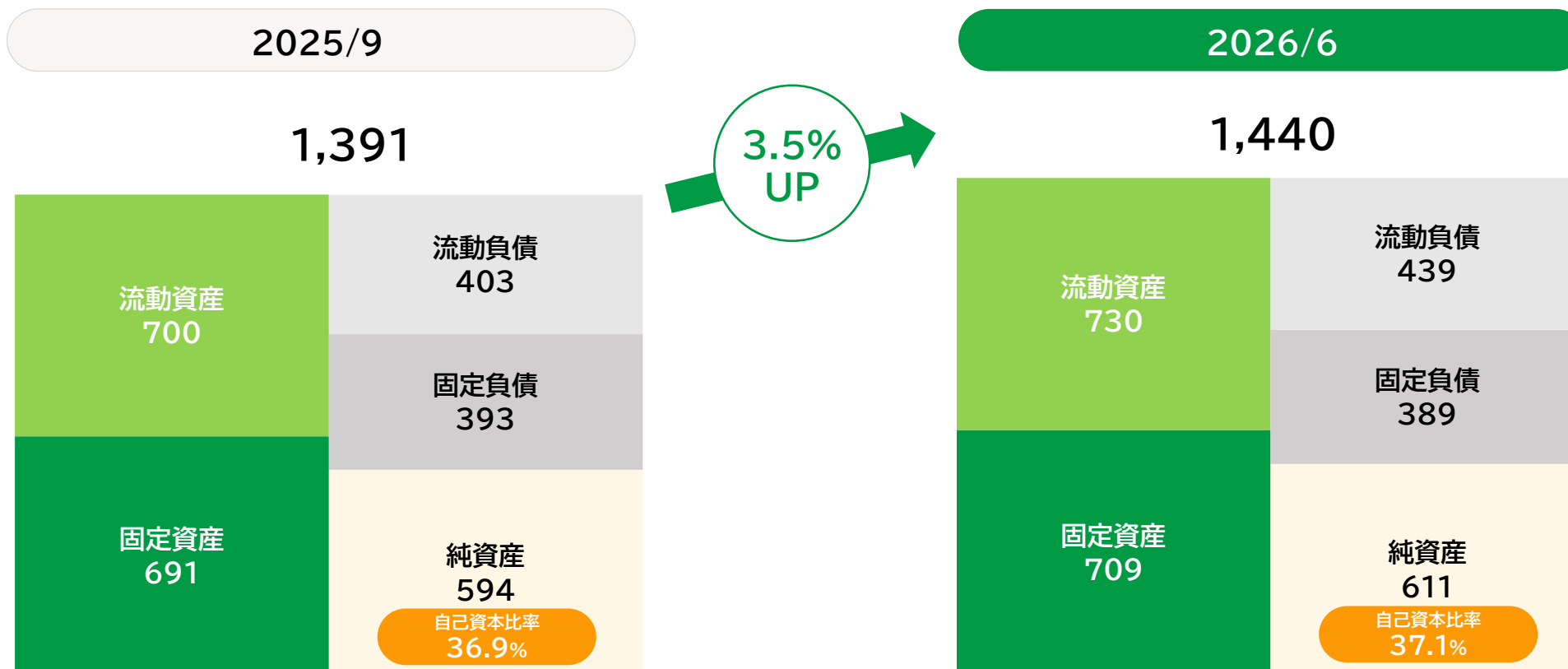
2026年9月期 第3四半期セグメント別業績(前年対比)

	2025年9月期 3Q(実績)			2026年9月期 3Q(実績)			増減 (前年対比)		
(単位:億円) (単位未満は切捨て)	売上高	EBITDA	営業利益	売上高	EBITDA	営業利益	売上高	EBITDA	営業利益
教育分野	801	58	39	828	62	39	+27	+3	+0
教室・塾	393	21	8	396	25	13	+2	+3	+5
出版・コンテンツサービス	257	32	28	258	28	23	+0	△3	△4
保育・幼児	125	3	2	131	4	4	+6	+0	+1
グローバル	25	1	△0	43	3	△1	+17	+2	△1
医療福祉分野	641	35	24	705	37	26	+63	+2	+2
高齢者住宅	341	17	11	372	18	13	+30	+0	+1
認知症グループホーム	300	18	12	333	19	13	+32	+1	+0
その他	23	△10	△12	24	△5	△8	+1	+4	+4
グループ合計	1,467	83	51	1,559	94	58	+92	+10	+7

連結財政状態

事業の拡大により総資産は3.5%増加、自己資本比率は37.1%に上昇

(単位: 億円)(単位未満は切捨て)



02 教育分野 業績

幅広く子どもたちの学習を支援する4事業を展開。
社会人向けのサービスも拡充しています。

教室・塾事業

日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営

出版・コンテンツサービス事業

児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等の制作・販売

保育・幼児事業

保育園、こども園、学童施設等の運営と幼保園等への物販

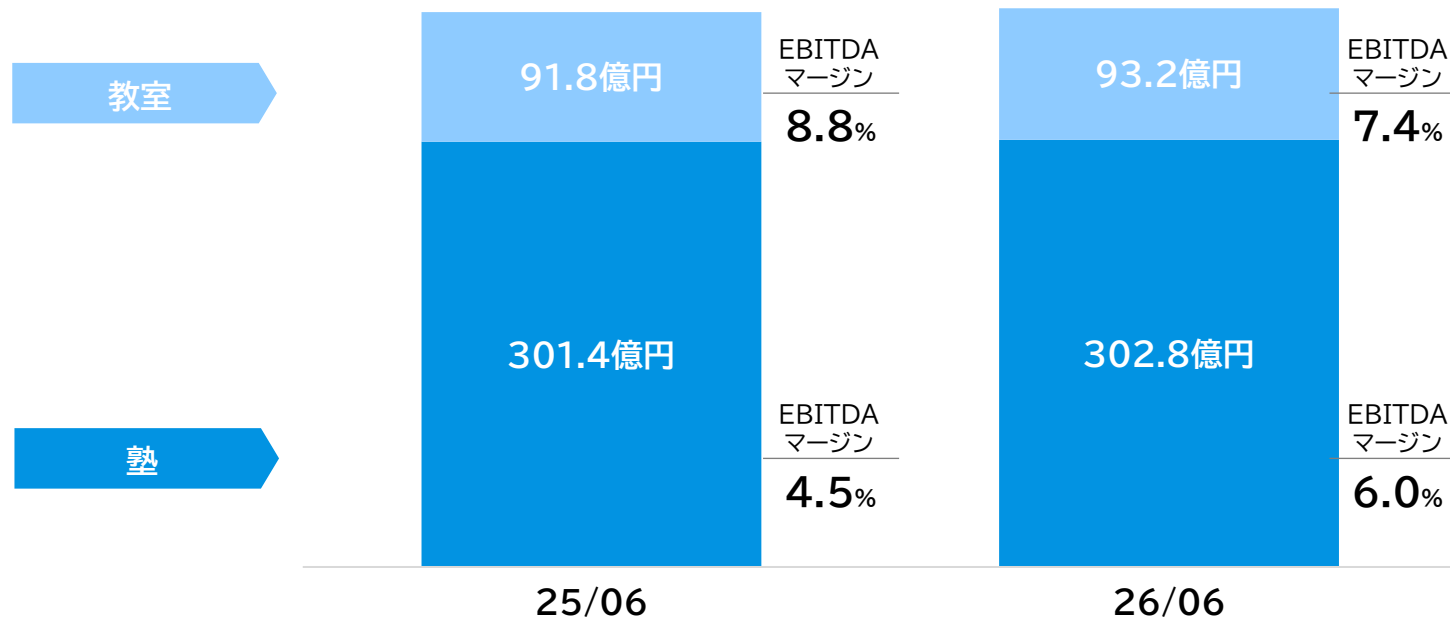
グローバル事業

グループ海外事業の推進やODA事業の企画・受託・実施



教室・塾事業※ 業績サマリー

売上高合計



(単位未満は切捨て)

EBITDA	21.6億円	25.0億円
EBITDAマージン	5.5%	6.3%

※塾事業は市進ホールディングスの2026年2月期第3四半期及び第4四半期(9～2月)の業績を取り込んでいます。

😊 ポジティブ要素

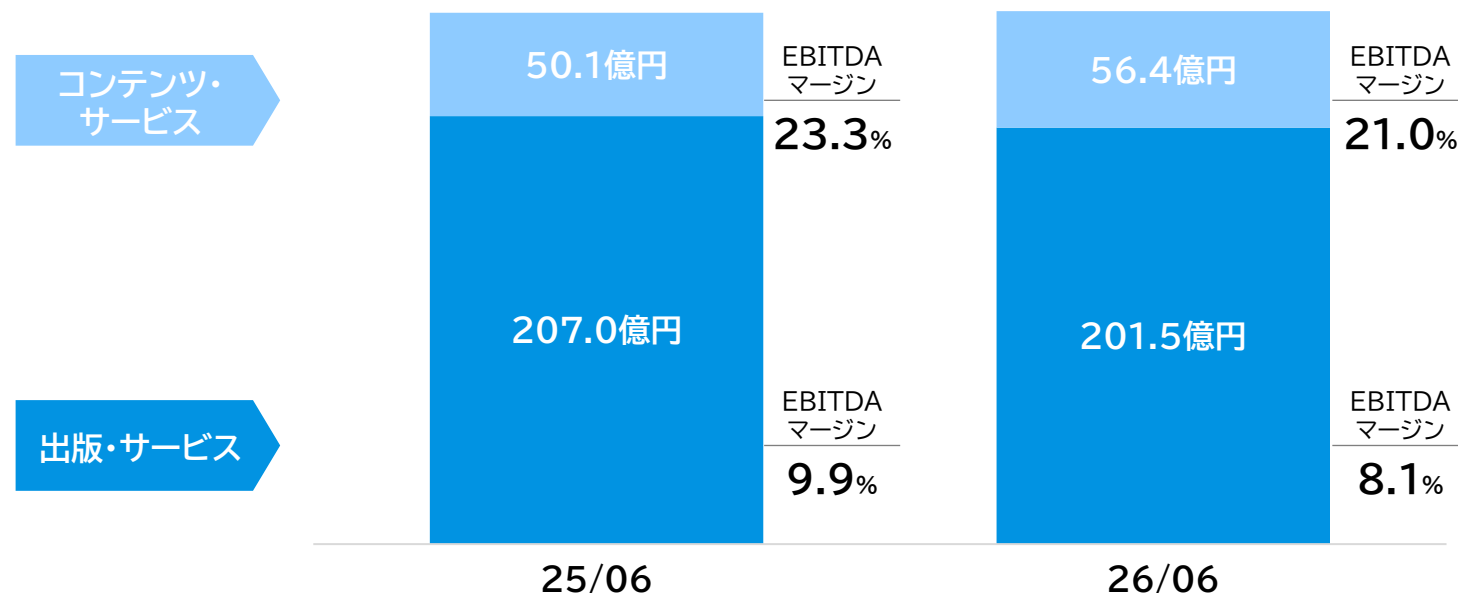
- 教室での月謝改定の効果による売上拡大
- 塾での生徒数が回復基調
- 塾での新事業・自治体事業の好調
- コスト構造の最適化

😞 ネガティブ要素

- 少子化の影響で商圈の競争が強まり会員・生徒募集は引き続き課題
- 備品・水光熱費・人件費等のコスト増加

出版・コンテンツサービス事業 業績サマリー

売上高合計



(単位未満は切捨て)

EBITDA	32.1億円	28.3億円
EBITDAマージン	12.5%	11.0%

😊 ポジティブ要素

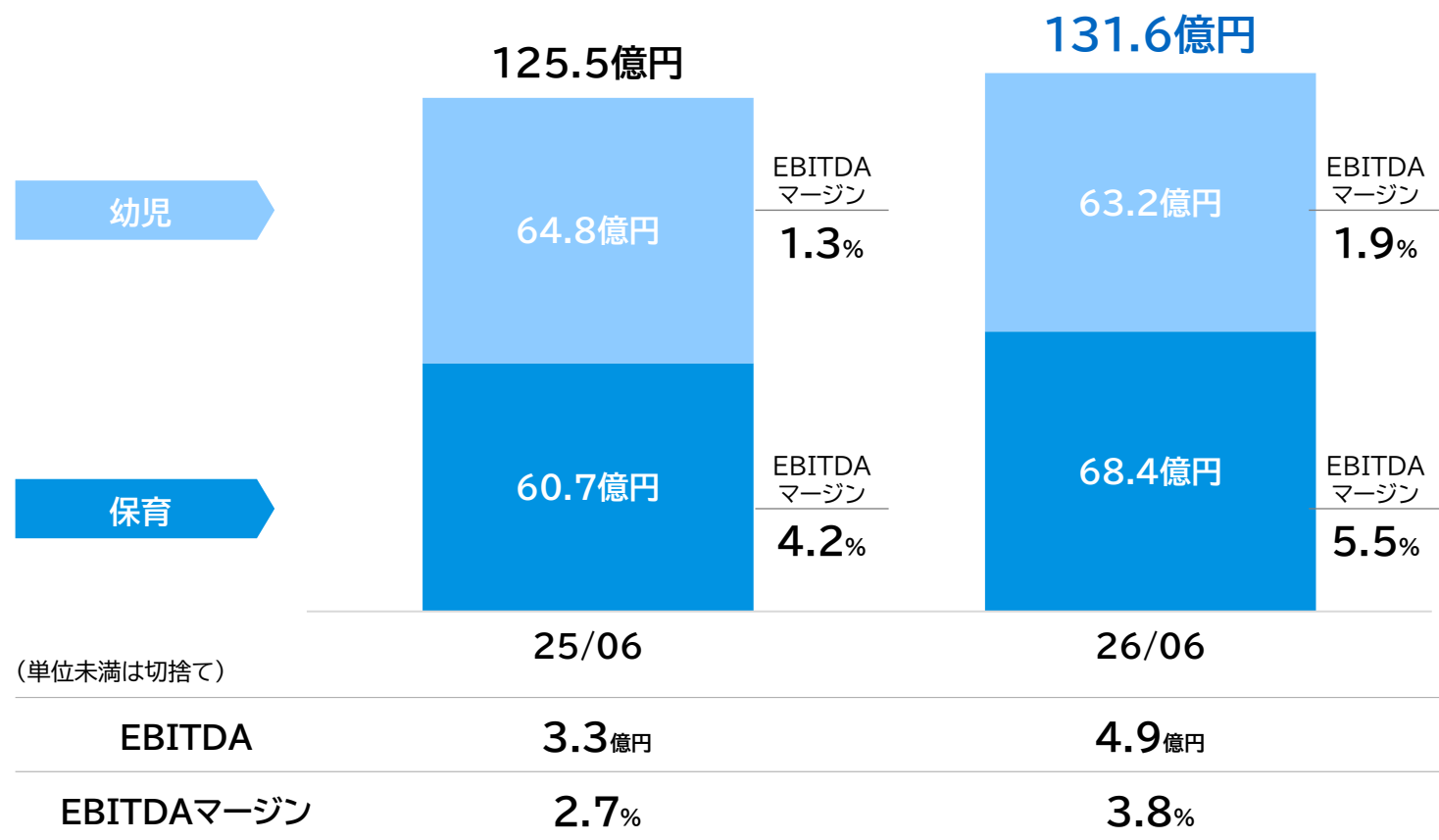
- ・新刊中心に価格見直し効果・中中学参、語学書などの利益率の高い学習参考書の好調・返品率改善の継続
- ・看護師eラーニング事業の契約病院数増加
- ・オンライン英会話事業の有料会員数増加

😞 ネガティブ要素

- ・製造コスト、物流費等経費の増加。中東情勢不安定化に伴う資材確保・生産や物流面でのリスク
- ・教科書採択の端境期に伴う教師用指導書の売上減
- ・オンライン英会話事業のAIへの投資増

保育・幼児事業 業績サマリー

売上高合計



😊 ポジティブ要素

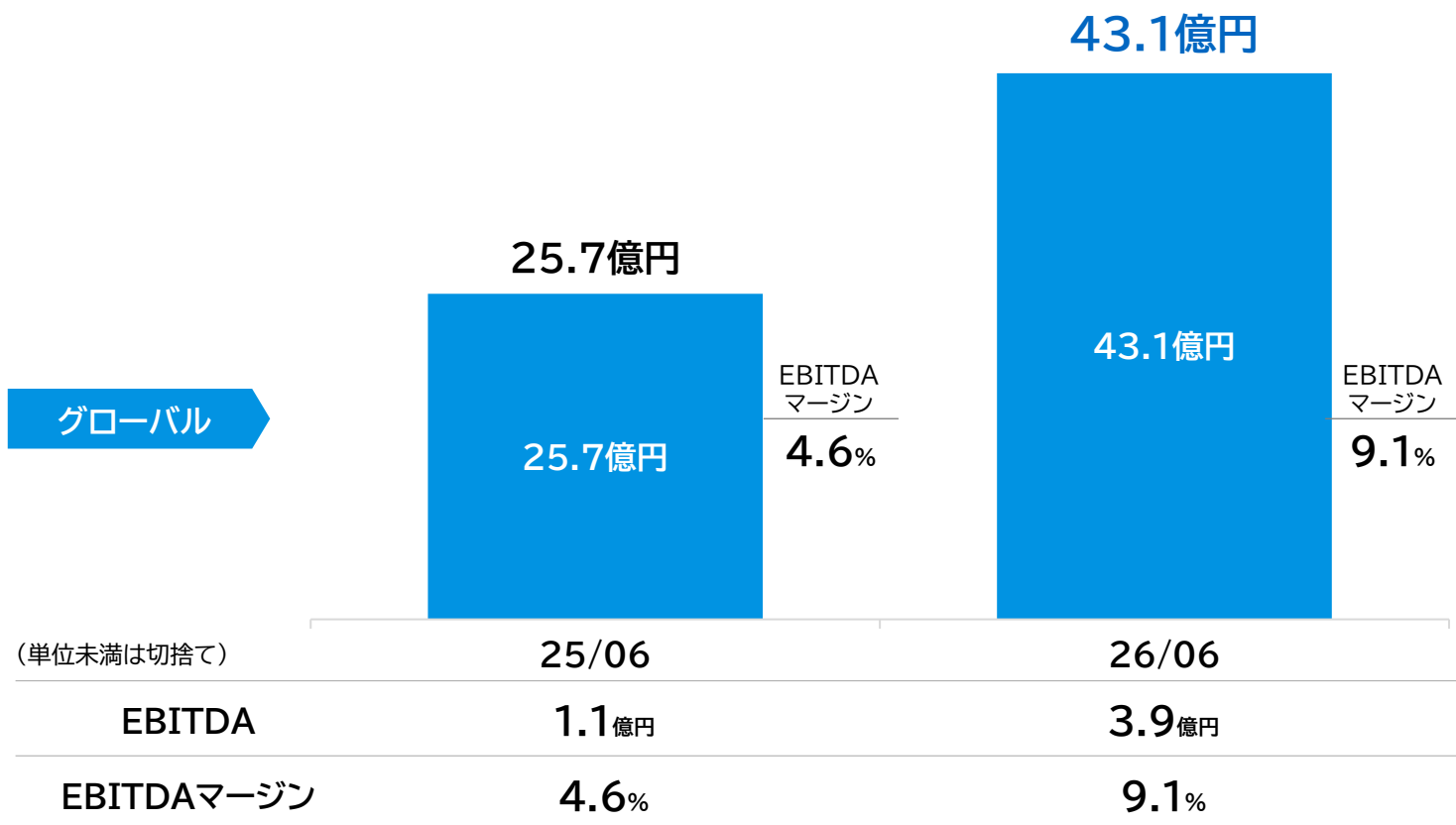
- ・ 保育園の充足率の高位安定
- ・ 公設学童の受託規模拡大
- ・ 幼児事業におけるコスト削減の進展

😞 ネガティブ要素

- ・ 食材費や電気・ガス代の高騰に伴うコスト増
- ・ 少子化による園児数の減少
- ・ 原材料価格の高騰や調達難航に伴う商品確保のリスク

グローバル事業 業績サマリー

売上高合計



😊 ポジティブ要素

- DTP社の連結寄与期間の拡大

😞 ネガティブ要素

- 次年度から適用されるベトナムの教科書採択制度変更に伴う、教科書販売事業の規模縮小の懸念
- 海外市場(中国等)における法規制変更・通関差し止めなどのリスク

03 医療福祉分野 業績

2つの事業で高齢化が進む社会の課題に挑み、
安心して暮らせる街づくりを進めます。

高齢者住宅事業

サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営

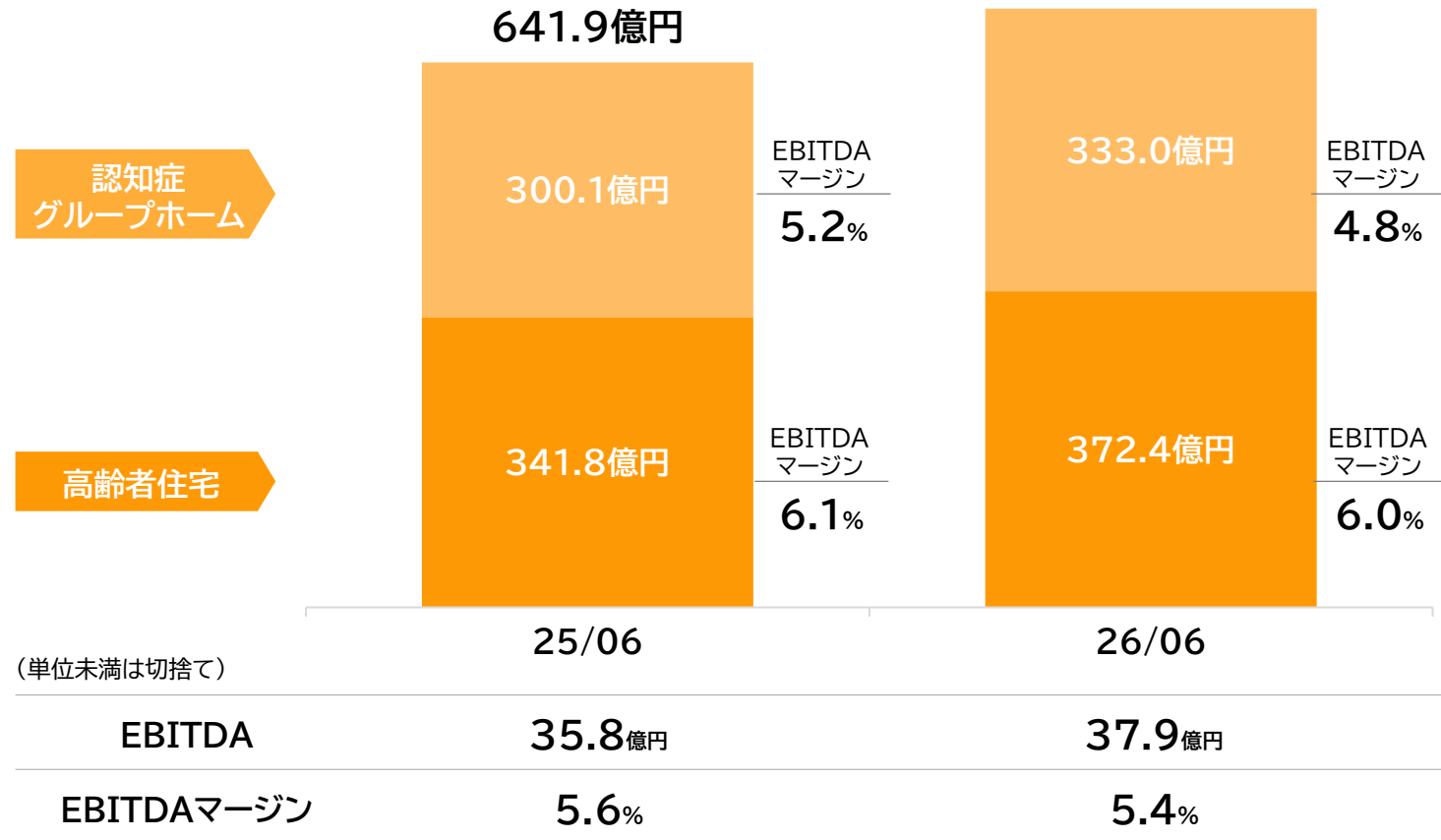
認知症グループホーム事業

グループホームの運営や関連サービスの企画・開発・運営



医療福祉分野 業績サマリー

売上高合計



😊 ポジティブ要素

- 拠点数の増加(対前年同期比)
 - 高齢者住宅 +12事業所
 - 認知症GH +9事業所
- 入居率(新店含む)の高水準維持
 - 高齢者住宅 95.6%
 - 認知症GH 98.0%
- 価格改定効果の継続
- 介護周辺事業の伸長

😞 ネガティブ要素

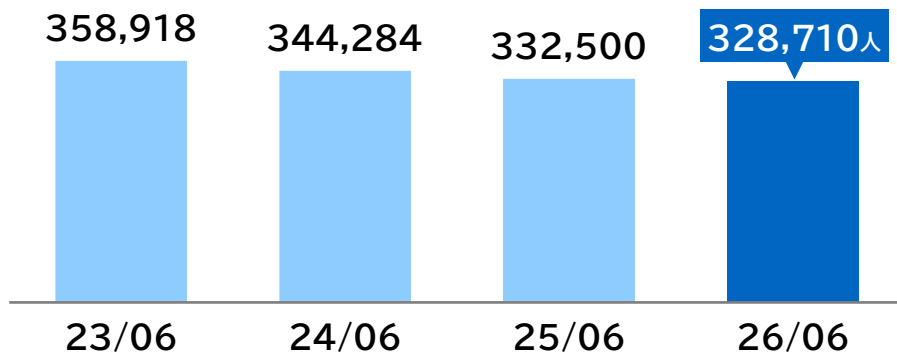
- 食材費・水光熱費等の物価高騰によるコスト増加
- 建築コスト高騰による新規開設のハードル上昇

04 決算補足資料

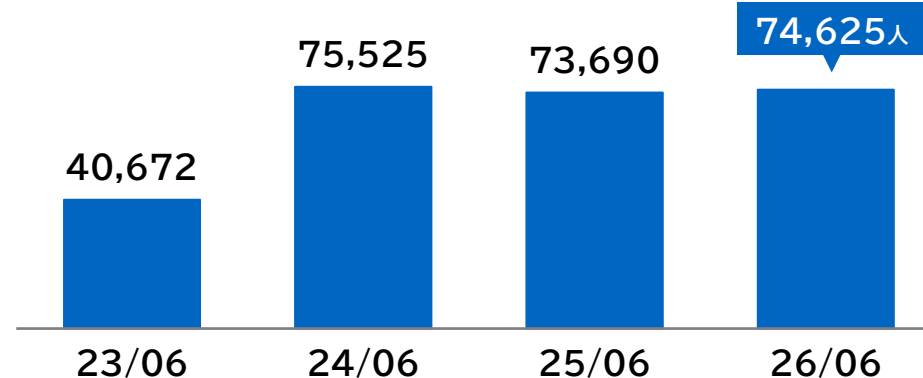


教室・塾事業 会員数・教室数・生徒数

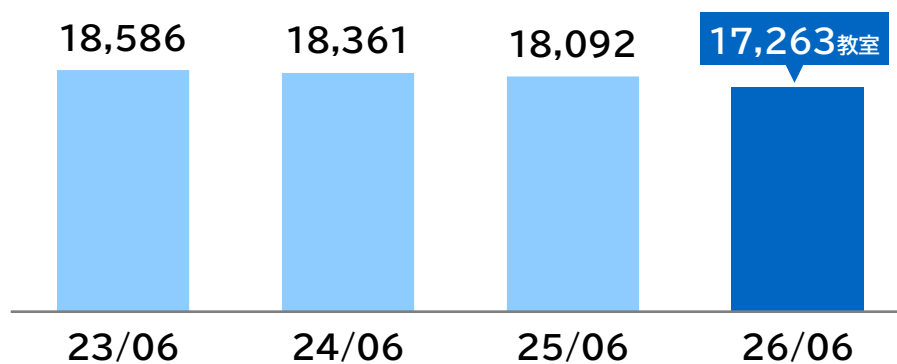
教室(会員数)



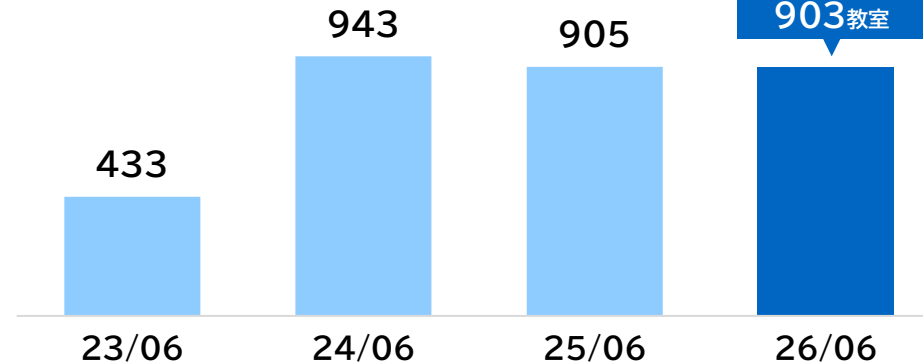
塾(生徒数)



教室(教室数)



塾(教室数)



※ 会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。

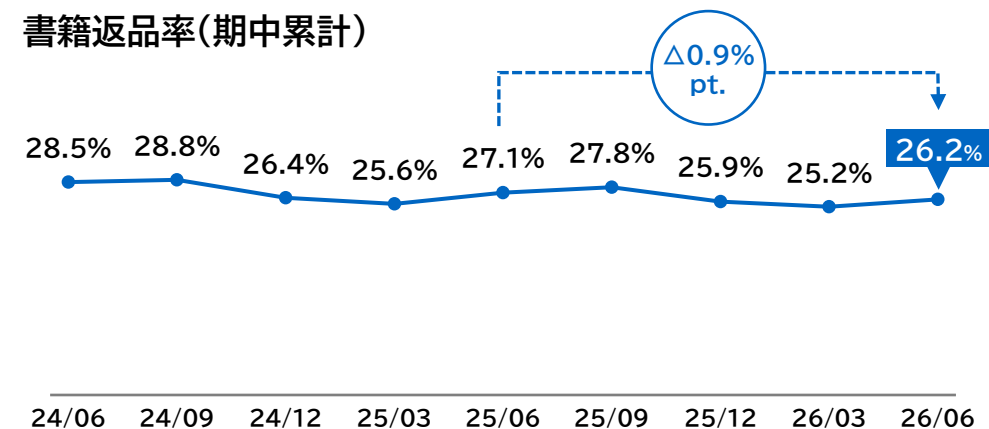
※ 2023年5月に(株)エヌイーホールディングスがグループイン
 ※ 2023年7月に(株)市進ホールディングスを連結化

出版・サービス事業 書籍新刊点数/返品率※1

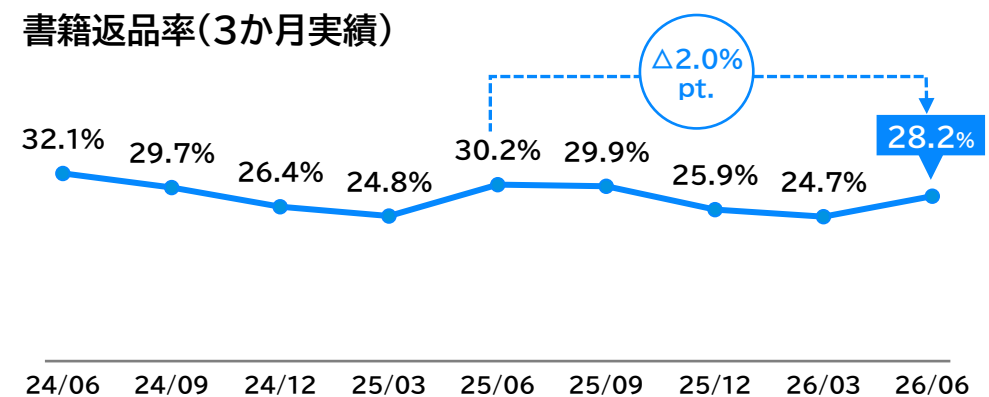
書籍新刊点数(期中累計)

(単位:点)	24/06	25/06	26/06
児童書	171	170	150
学習参考書	133	149	188
実用書	168	181	175
ムック	32	25	23
その他書籍	108	125	106
合計	612	650	642

書籍返品率(期中累計)



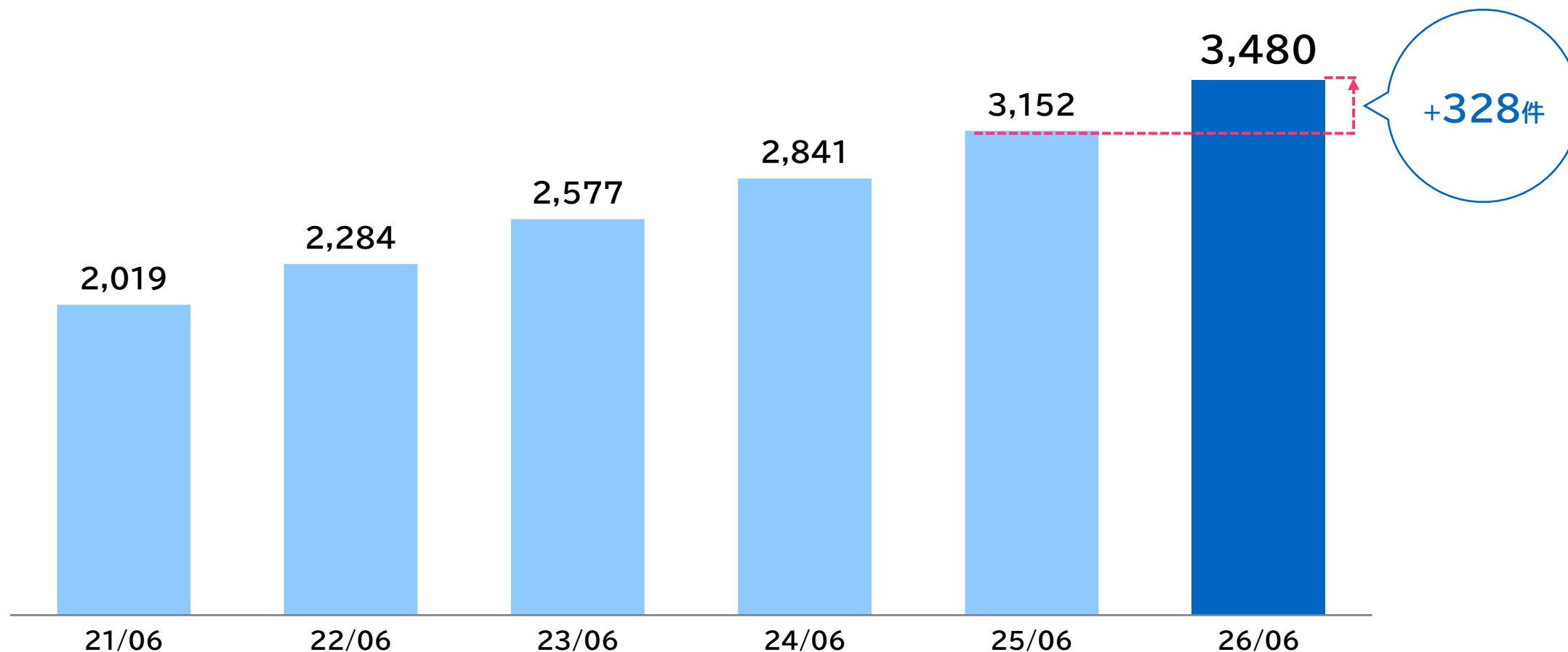
書籍返品率(3か月実績)



※1 書籍(雑誌は含まず)新刊点数及び書籍返品率は、(株)Gakken と(株)地球の歩き方の合算です。

コンテンツ・サービス事業 看護師eラーニング契約病院数

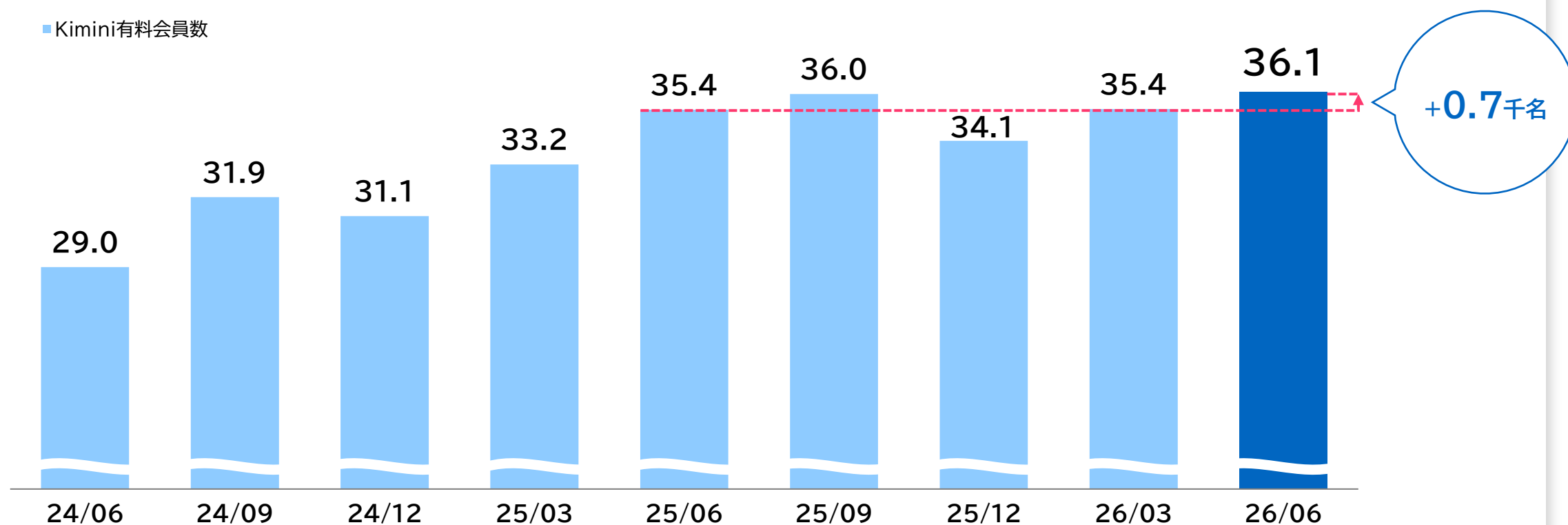
(単位:件)



コンテンツ・サービス事業 オンライン英会話 Kimini 有料会員数

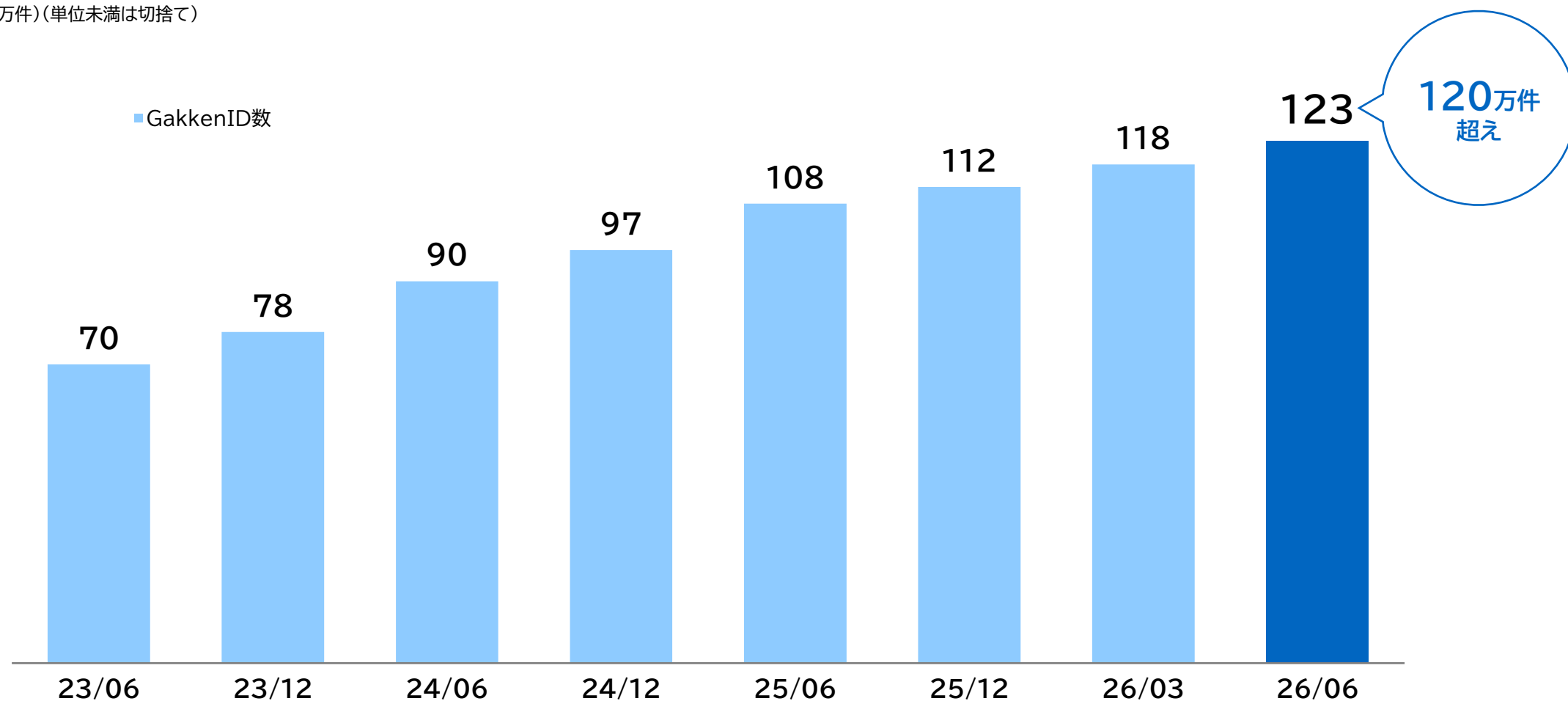
(単位:千名)

■ Kimini有料会員数



DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイント Gakken ID数

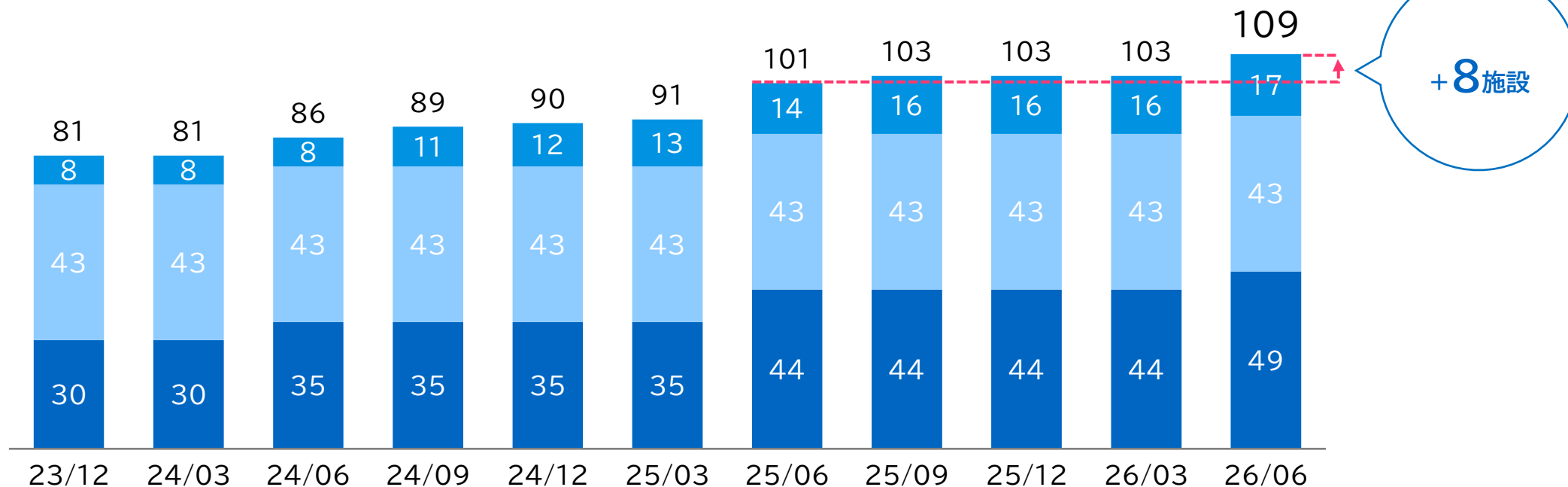
(単位:万件)(単位未満は切捨て)



保育事業 子育て支援施設数等推移

(単位:施設数)

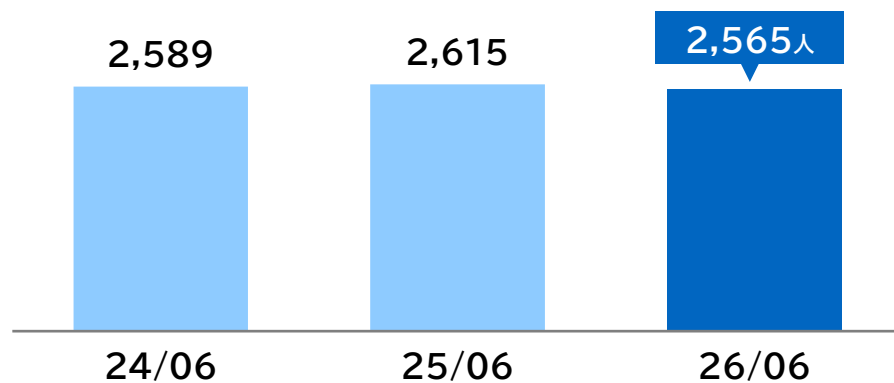
■ 学童
■ 保育園※1
■ その他



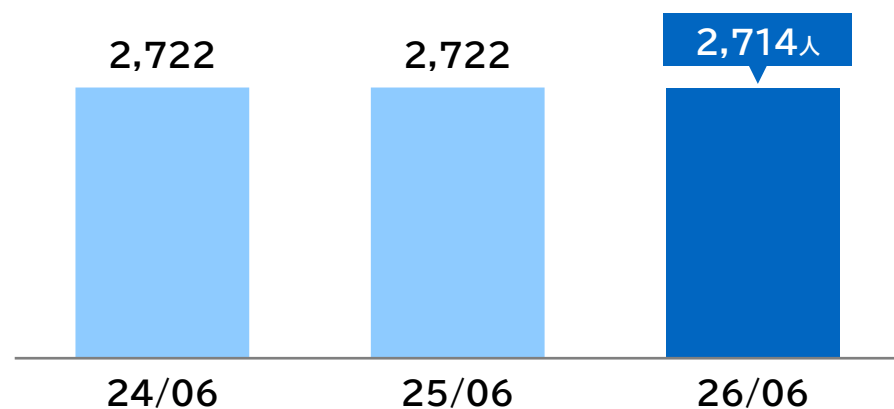
※1 記載の数値は児童発達支援施設、フリースクール、複合施設の合算で、新規開設数と閉鎖数の差し引きです。

保育事業 キャパシティと稼働状況

保育所 園児数(人)

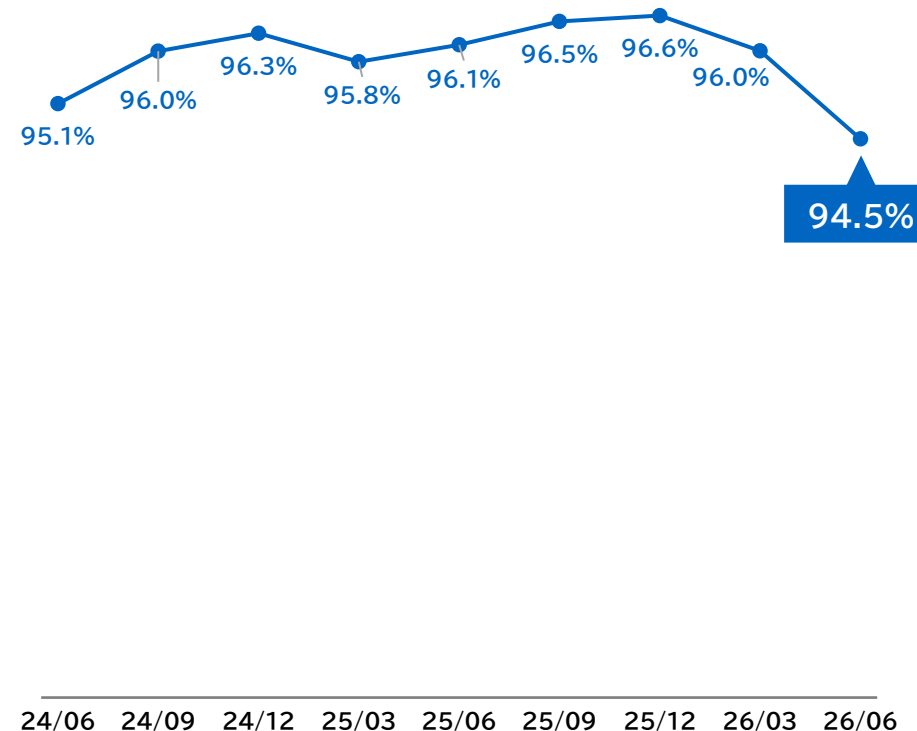


※
保育所 定員数(人)



※ 定員数は、保育所のみです。

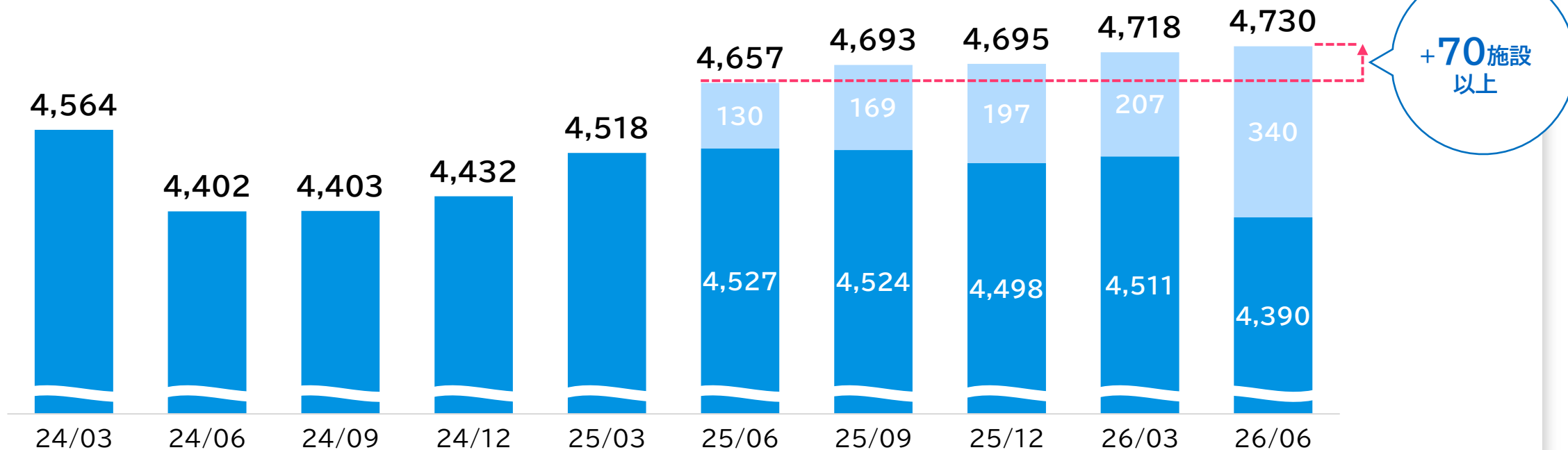
充足率推移



幼児事業 園向けICTサービス導入園数

(単位:園数)

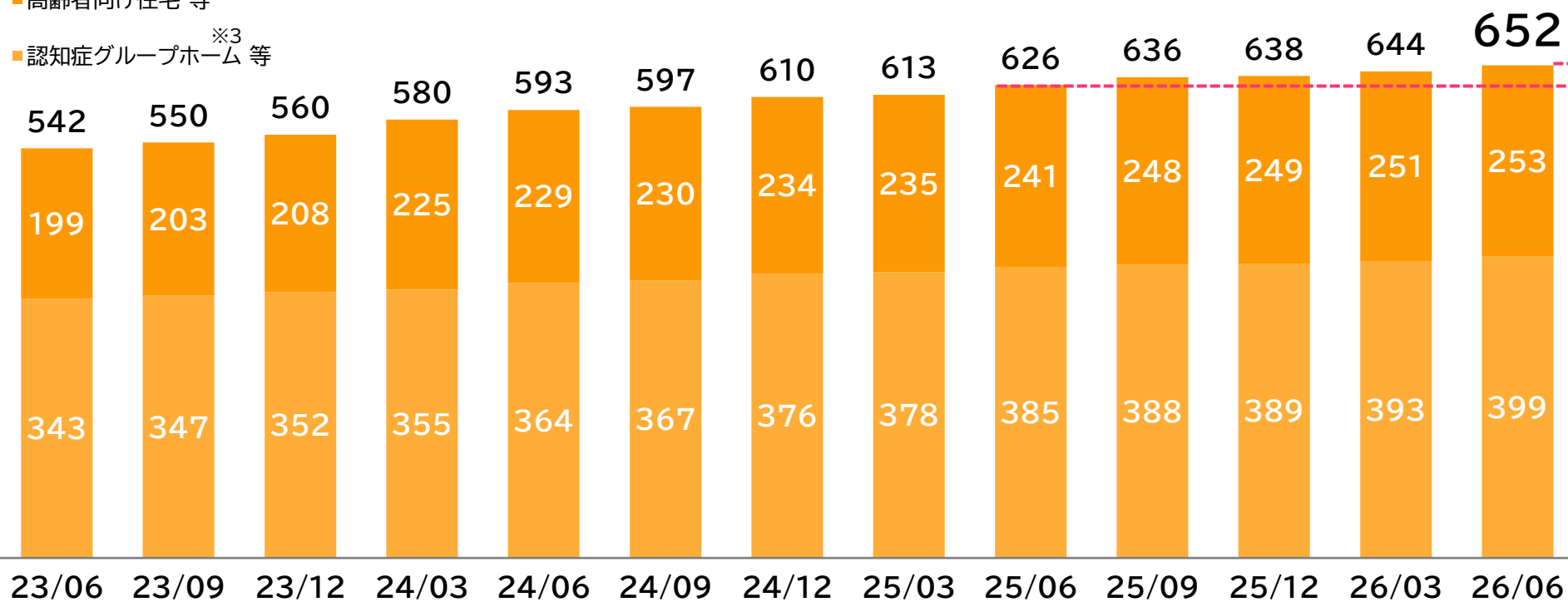
- ※1
■HOINQ 導入園数
- ※2
■hugmo 導入施設数



医療福祉分野 拠点数推移※1

(単位:施設数)

- 高齢者向け住宅 等^{※2}
 ■ 認知症グループホーム 等^{※3}



+26施設

※1 記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。海外拠点を含み、(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。

※2 サービス付き高齢者向け住宅の他に、訪問介護ステーションなど他区分拠点を含みます。

※3 認知症グループホームの他に、特定施設、小規模多機能型居宅介護拠点など他区分施設を含みます。

医療福祉分野 開設※計画と進捗

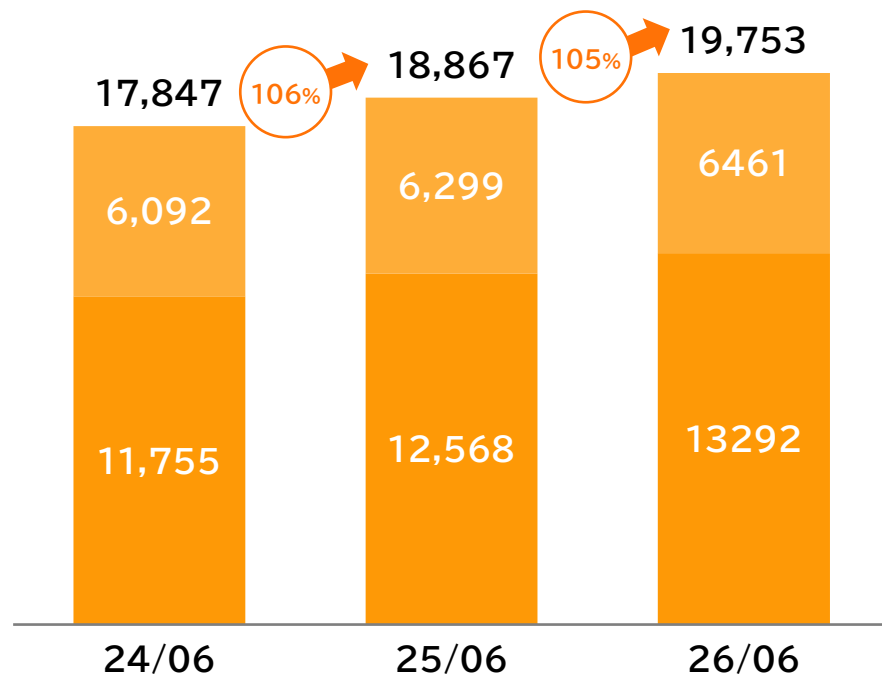
	2025/9	2026/9			
(単位:開設数)	開設実績	通期計画	3Q累計実績	進捗率	通期見込み
高齢者住宅	18棟 (1,165戸)	26棟 (1,500戸)	5棟 (324戸)	棟数:19.2% (戸数:21.6%)	14棟 (841戸)
認知症グループホーム	12棟 (216居室数)	10棟 (180居室数)	6棟 (108居室数)	棟数:60% (居室数:60%)	9棟 (171居室数)
合計	30棟	36棟	11棟	棟数:30.6%	23棟

※ 国内拠点のみの数値です。同期間の閉鎖数を差し引いておりません。(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。
※ 現時点における中計の開設計画に変更はございません。

医療福祉分野 キャパシティと稼働状況

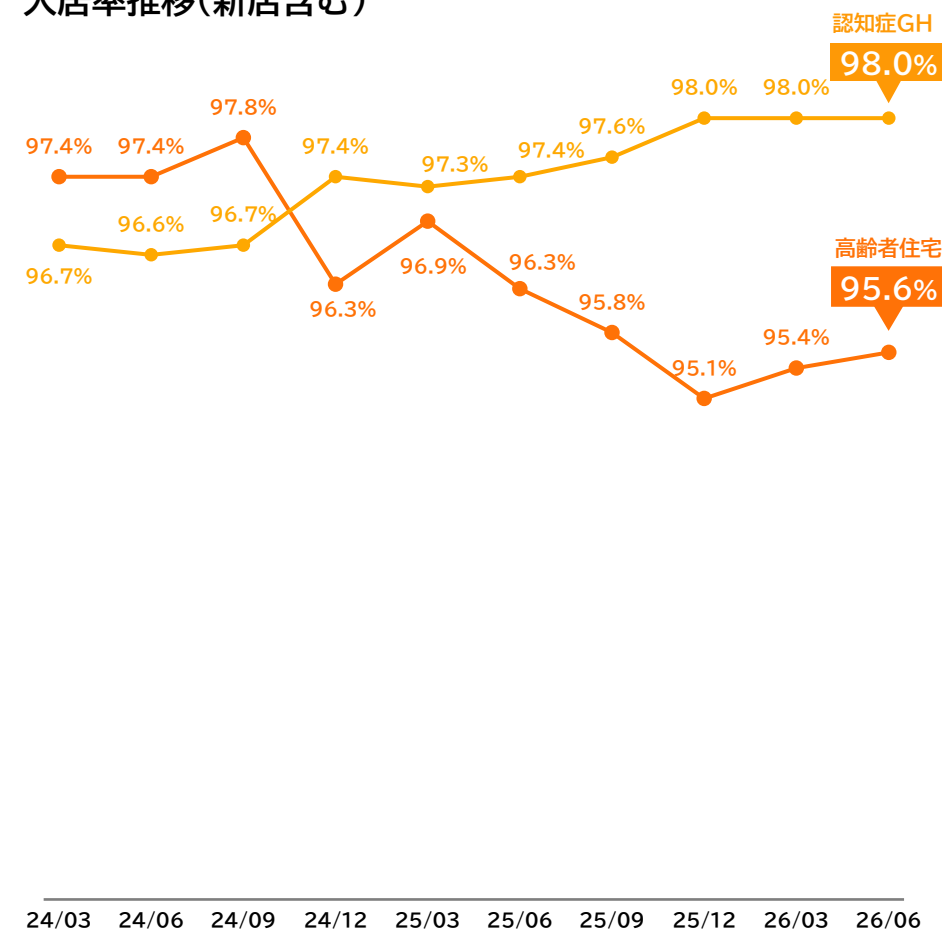
総戸数・居室数推移

- 認知症GH 居室数(件)
■ 高齢者住宅 総戸数(件)



※1 認知症グループホームの居室数に他区分施設の居室数は含まれません。

入居率推移(新店含む)



医療福祉分野 入居率

		23/09	24/03	24/09	25/03	25/09	25/12	26/03	26/06
高齢者住宅	総戸数	10,361	11,512	11,805	12,146	12,918	13,036	13,134	13,292
	入居数	10,062	11,210	11,541	11,775	12,376	12,401	12,535	12,703
	入居率	97.1%	97.4%	97.8%	96.9%	95.8%	95.1%	95.4%	95.6%
認知症 グループ ホーム	居室数 ※	5,858	5,966	6,137	6,245	6,353	6,371	6,425	6,461
	入居率	96.8%	96.7%	96.7%	97.3%	97.6%	98.0%	98.0%	98.0%

※ 認知症グループホームの居室数に他区分施設の居室数は含まれません。

今日、いくつ挑戦した？
Gakken

本資料には事業計画に関する記述が含まれております。こうした記述は、当資料の作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づき作成しております。
したがって、実際の業績がこれらの事業計画とは異なるリスクや不確定要素が存在することを予めご承知おきください。



本文部分には見やすい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています